

2 チーム力向上のための知識・理論

①自己マスタリー ～自分は何がしたいのか～

自己マスタリーとは？

自己マスタリーとは、個人の成長と学習に関するディシプリン*であり、人生において自分が心から求めている結果（創り出したい未来、創造したいものやこと）を生み出すために、自身の能力と意識を絶えず伸ばし続けることです。

引用：「学習する組織」入門 小田理一郎（2017）



チームを任されたが…、自分のやりたいことと違う…。
でも、チーム力向上も言われているし、うまくいかない…。

自分の得意な分野ではなくて…。
だからなのか、チームがうまくいかない…。



チェック

自分や組織・チームを振り返ってみましょう！

- 自分やチームの仲間は仕事に対して意欲的に取り組んでいますか？
- チームでどんな成果を求めたいのか、自分はどうかを探求していますか？
- 組織・チームでは、意欲を高めたり、個々の研鑽を支援したりする機会や手法がありますか？

ポイント

【自己マスタリーにおける重要な実践のひとつ】

自分の役職のため、組織の方針のため、仕方なく仕事を行うのは本当の選択ではありません。たとえ、それがきっかけだったとしても、志を築こうとする仕事に向き合うためには、自分のする仕事が周囲だけでなく自分自身にも意味があることを認識して取り組むことが主体的に取り組む姿勢への大きな一歩になります。

＜自分がこれから意識すること、実行することを書いてみましょう！＞



組織が…。チームが…。
ではなく、自分が！の姿勢
ですね。

*ディシプリン…実践するために学び、習得しなければならない理論と手法の体系を意味する。「規律」「訓練」などと訳されるが、合気道や茶道といった言葉で使われる「道」の意味合いに似ている。